

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援					
(2)	総合計画の体系	第	3	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	1	節	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
		第	21	細節	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		372,603	409,033	431,325	
		従事職員数		19.76 人	24.06 人	20.51 人	
		所要人件費(B)		157,036	199,639	167,567	
		総事業費(A+B)		529,639	608,672	598,892	
		財源内訳	収入	国庫支出金	31,094	47,553	41,659
				府支出金	67,607	82,724	79,084
				その他	11,011	20,906	23,125
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	419,927			457,489	455,024		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	1歳半及び0歳児育児教室参加組数	目標値 (単位:組)	3,034.80	3,052.00	3,148.00
		実績値 (単位:組)	3,613.00	1,363.00	
目標値の積算方法	1歳半健診対象者及び各年度の5月1日付0歳児数から保育所入所児数を除いた数のうち、事業実施園全体に占める私立実施園の9割	達成度(%)	119.1	44.7	
指標内容	ファミリー・サポート・センター相互援助活動件数	目標値 (単位:件)	6,424.00	6,500.00	6,420.00
		実績値 (単位:件)	5,538.00	5,386.00	
目標値の積算方法	年度末会員数(依頼会員・両方会員・援助会員の合計)×2件	達成度(%)	86.2	82.9	

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

地域における子育て支援の基盤形成を推進するためには、地域子育て支援センターやのびのび子育てプラザが中心となり、各地域の子育て支援関係機関(保育所、幼稚園、児童館、子育て広場、民生・児童委員協議会、地区福祉委員会等)との連携を深める必要がある。今後は子ども・子育て支援事業計画に基づき提供体制の確保等施策の推進を図ります。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	一時預かり事業	のびのび子育てプラザ	00281	全部	大	18	20	18	18	14	88	継続
2	一時預かり事業	保育幼稚園室	00298	なし	大	18	16	18	18	20	90	継続
3	地域子育て支援センター事業	子育て支援課	00252	一部	大	20	16	20	18	14	88	拡充
4	地域子育て支援センター事業	保育幼稚園室	00297	全部	大	18	18	20	18	16	90	継続
5	のびのび子育てプラザ事業	のびのび子育てプラザ	00280	全部	大	20	18	16	18	16	88	継続
6	子育て広場助成事業	子育て支援課	00254	一部	大	20	20	18	18	12	88	継続
7	ファミリー・サポート・センター事業	のびのび子育てプラザ	00282	全部	大	14	16	18	18	18	84	継続
8	児童会館運営事業	子育て支援課	00275	全部	中	18	14	18	18	10	78	拡充
9	子育て支援活動事業	保育幼稚園室	00308	全部	中	14	18	12	20	18	82	継続
10	あかちゃんの駅推進事業	子育て支援課	01290	全部	中	14	14	12	18	14	72	継続
11	一時預かり事業	保育幼稚園室	01416	なし	大	18	18	16	18	18	88	継続
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		当施策を構成する各事業とも、地域における子育て支援の充実にとって重要であるが、地域との連携や市民ニーズを踏まえた今後の事業の拡充の方向性を考慮し、優先順位をつけている。										